

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 オーデリック株式会社
 コード番号 6889 URL <http://www.odelic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊藤 雅人
 (氏名) 河井 隆

TEL 03-3332-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,225	5.7	844	84.9	882	87.5	970	206.0
23年3月期第3四半期	17,238	7.5	456	—	470	—	317	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 936百万円 (190.0%) 23年3月期第3四半期 322百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	161.14	—
23年3月期第3四半期	52.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	24,120	16,277	67.5
23年3月期	22,799	15,462	67.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,274百万円 23年3月期 15,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	4.6	850	47.3	900	49.4	970	152.3	161.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	7,611,000 株	23年3月期	7,611,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,586,785 株	23年3月期	1,586,736 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,024,236 株	23年3月期3Q	6,024,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務問題の深刻化やタイの洪水被害の影響から後退局面となり、わが国経済においても東日本大震災による落ち込みからの持ち直しが見られましたが、円高の長期化から景気の減速感が鮮明となっております。

当企業グループの業績に大きな影響を与える住宅投資につきましても、8月までは新設住宅着工戸数の増加が見られたものの、その後は前年比マイナスが続いております。

このような状況の中、当企業グループにおいては、省エネ・節電に貢献する各種LED照明器具の新製品を多数開発、10月にはLED専用カタログも発行し、住宅・店舗・施設向けに増販を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,225百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益844百万円(前年同期比84.9%増)、経常利益882百万円(前年同期比87.5%増)となりました。

四半期純利益につきましては、当期及び今後の業績見通しを踏まえ、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会監査委員会報告第66号)に基づき、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第3四半期において法人税等調整額に△283百万円を計上し、970百万円(前年同期比206.0%増)となりました。

当企業グループは照明器具の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しておりますが、機種別の業績につきましては次のとおりであります。

(LED照明器具)

LED照明器具につきましては、省エネ・節電機器として注目を集める中、昨年5月に発刊いたしました新カタログにおいて約450点の新製品を掲載するとともに、その後もベースライト、ダウンライト、シーリングライト等の各種新製品を順次市場投入、10月にはLED照明器具1,200点を掲載したLED専用カタログを発行して、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ133.0%増の3,917百万円となりました。

(蛍光灯照明器具)

蛍光灯照明器具につきましては、白熱灯照明器具からのシフトが進んだ一方、シーリングライト、ダウンライト等のジャンルにおいて品揃えを拡充したLED照明器具に徐々に需要が移ってまいりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ3.3%減の9,763百万円となりました。

(白熱灯照明器具)

白熱灯照明器具につきましては、エネルギー消費効率の良いLED照明器具や高効率蛍光灯照明器具へのシフトが進んだ結果、売上高は前年同期に比べ16.9%減の2,737百万円となりました。

(高圧放電灯照明器具・その他)

高圧放電灯照明器具・その他につきましては、施設物件の受注が減少した影響により、売上高は前年同期に比べ16.5%減の1,806百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて1,320百万円増加し24,120百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加449百万円や商品及び製品の増加1,496百万円や原材料及び貯蔵品の増加356百万円に対して現金及び預金が1,188百万円減少したこと等によるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて504百万円増加し7,842百万円となりました。これは主に生産増強による仕入高増加で支払手形及び買掛金が599百万円増加したことや未払法人税等の増加141百万円に対して賞与引当金が165百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて815百万円増加し16,277百万円となりました。これは主に業績改善等により利益剰余金が850百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月11日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成24年2月2日公表の「繰延税金資産の計上及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,139,565	3,951,074
受取手形及び売掛金	4,560,113	5,009,288
商品及び製品	2,727,727	4,223,845
仕掛品	193,471	244,609
原材料及び貯蔵品	708,402	1,064,470
その他	296,832	672,284
貸倒引当金	△5,492	△6,155
流動資産合計	13,620,621	15,159,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,130,884	3,969,008
機械装置及び運搬具(純額)	108,872	89,651
土地	2,097,911	2,097,911
その他(純額)	322,339	433,174
有形固定資産合計	6,660,008	6,589,746
無形固定資産	1,123,950	1,116,846
投資その他の資産		
投資有価証券	832,918	676,104
その他	574,798	591,000
貸倒引当金	△12,357	△12,572
投資その他の資産合計	1,395,359	1,254,532
固定資産合計	9,179,318	8,961,126
資産合計	22,799,939	24,120,543
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,269,218	4,868,420
短期借入金	4,296	4,296
未払法人税等	60,238	201,913
賞与引当金	256,409	91,024
その他	930,168	1,076,868
流動負債合計	5,520,330	6,242,523
固定負債		
長期借入金	28,322	25,100
退職給付引当金	517,807	554,667
役員退職慰労引当金	139,140	120,199
その他	1,132,160	900,058
固定負債合計	1,817,430	1,600,025
負債合計	7,337,760	7,842,548

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,105,500	3,105,500
資本剰余金	2,890,655	2,890,655
利益剰余金	10,778,282	11,628,561
自己株式	△1,393,349	△1,393,403
株主資本合計	15,381,088	16,231,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,434	42,864
その他の包括利益累計額合計	79,434	42,864
少数株主持分	1,655	3,817
純資産合計	15,462,178	16,277,994
負債純資産合計	22,799,939	24,120,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	17,238,402	18,225,159
売上原価	10,733,662	11,292,259
売上総利益	6,504,739	6,932,900
販売費及び一般管理費	6,047,924	6,088,160
営業利益	456,815	844,739
営業外収益		
受取利息	1,230	1,988
受取配当金	15,306	17,025
デリバティブ評価益	4,115	—
助成金収入	5,855	—
その他	26,238	25,981
営業外収益合計	52,747	44,995
営業外費用		
支払利息	4,673	4,602
借地権償却	23,809	—
その他	10,342	2,419
営業外費用合計	38,825	7,021
経常利益	470,736	882,712
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,192
固定資産売却益	782	—
貸倒引当金戻入額	822	—
特別利益合計	1,604	1,192
特別損失		
固定資産除却損	9,099	14,330
投資有価証券評価損	—	20,370
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76,804	—
資産除去債務履行時差額	40,991	—
特別損失合計	126,896	34,700
税金等調整前四半期純利益	345,445	849,204
法人税、住民税及び事業税	29,096	198,955
法人税等調整額	△2,193	△322,676
法人税等合計	26,903	△123,721
少数株主損益調整前四半期純利益	318,541	972,925
少数株主利益	1,312	2,161
四半期純利益	317,229	970,763

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318,541	972,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,367	△36,569
その他の包括利益合計	4,367	△36,569
四半期包括利益	322,909	936,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,597	934,193
少数株主に係る四半期包括利益	1,312	2,161

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当企業グループは、製商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断いたしまして、同種・同系列の各種照明器具を専ら製造販売しており、本社に営業本部を置くとともに各営業部が全国に配置され、営業本部が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、照明器具の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。